

令和 4 年 度
事業計画書



社会福祉法人 聖風会

社会福祉法人の定義

社会福祉法人聖風会は、社会福祉法人とは、以下のような存在でなければならないと考えています。

- 一、社会福祉法人は、質の高いサービスの提供と、その担い手である人材の育成を行い続けなければならない。
- 一、社会福祉法人は、事業継続のために必要な収益を確保しながらも、非営利の姿勢を貫かなければならない。
- 一、社会福祉法人は、地域の中の存在として、常に地域との連携を図り、地域住民の生活を支援しなければならない。
- 一、社会福祉法人は、制度の有無にかかわらず、すべての社会的弱者を積極的に受け入れ、手を差し伸べ、社会に安心を提供しなければならない。

法 人 理 念

最高に価値あるものをすべての人に
～地域に信頼される施設を目指して～

経 営 理 念

＜私たちが目標とすること＞

- ☆地域に貢献する総合福祉事業の展開
- ☆卓越したケアサービスによる顧客満足
- ☆効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

運 営 理 念

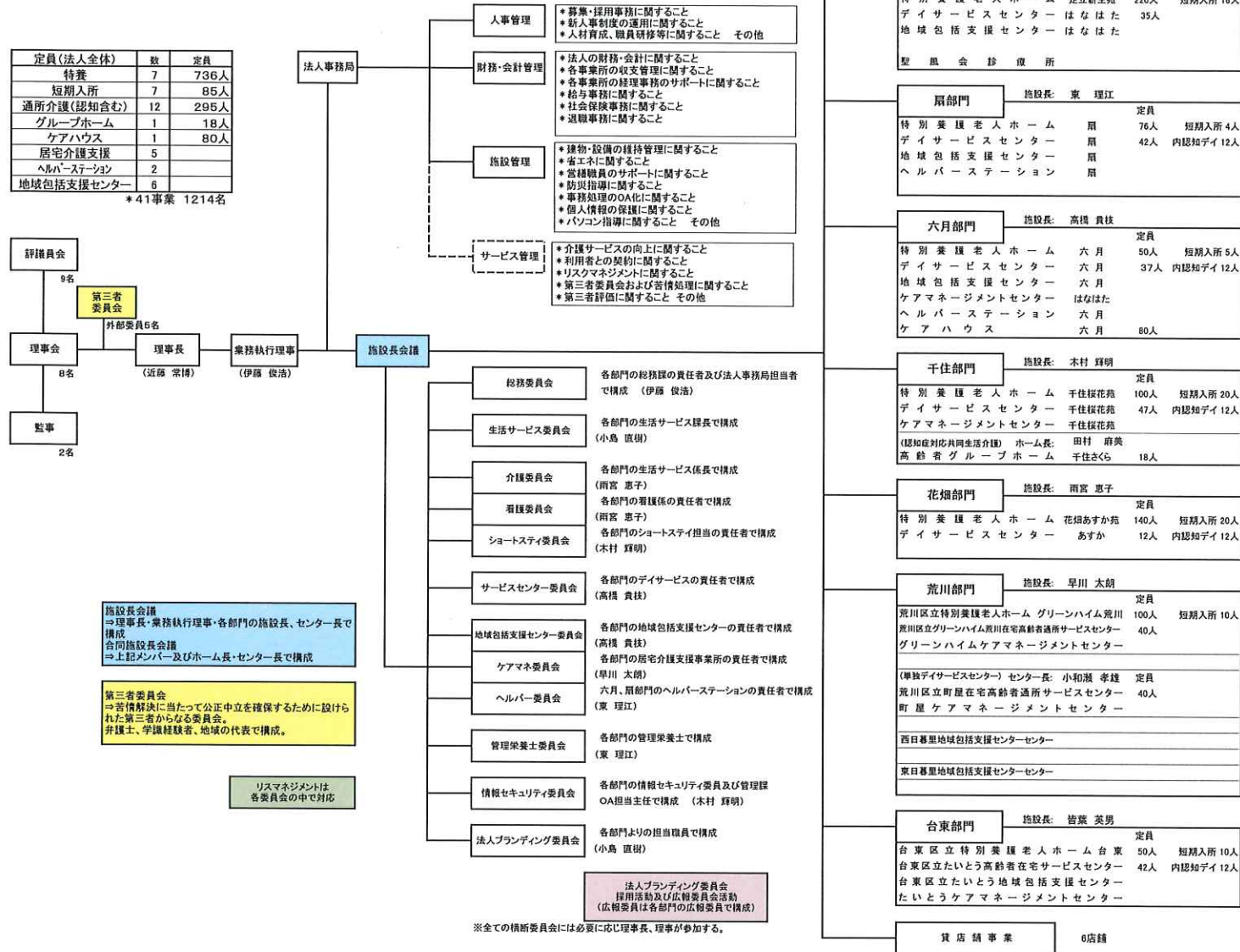
＜私たちが大切にしていること＞

- ☆相手の立場で見る・聴く・考える
- ☆相手の笑顔・自分の笑顔
- ☆その人がその人らしく生きること

目 次

社会福祉法人聖風会	・ ・ ・ ・ ・	1
足 立 部 門	・ ・ ・ ・ ・	1 9
扇 部 門	・ ・ ・ ・ ・	2 5
六 月 部 門	・ ・ ・ ・ ・	3 3
千 住 部 門	・ ・ ・ ・ ・	4 3
花 畑 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 1
荒 川 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 8
荒川部門単独事業所	・ ・ ・ ・ ・	6 4
台 東 部 門	・ ・ ・ ・ ・	7 2

社会福祉法人 聖風会 組織図



【本部事務局】

《人事 財務 会計管理》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	外国人雇用（留学生・特定技能）における組織的なバックアップ体制の構築。 ・法定基準を上回る障がい者雇用	・日本語学校、養成校、就職毎の業務内容の整理・見直しを行い、法人統一のマニュアルを作成する。 ・支援学校と連携強化 2.5%雇用		
②	法人事務局による各拠点巡回。 ※昨年からの継続課題	・四半期ごとに全拠点を巡回し、財務・労務・建物維持管理について施設総務担当者と打合せを行い、情報の共有かをはかる。		
③	適確な経営状況把握 ※経営状況の見える化	・月次報告を活用し、月々での経営状況を確認分析を行ない、課題の抽出を行ない運営会議で提案。		

《部門特記事項》

《施設 サービス 管理》

〈令和 4 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	事業所総合防災力の維持強化を行う	・法人防災委員が核となり、前年度に策定した防災諸規定類が陳腐化しないよう、実りのある訓練ができるよう、PDCA を遂行する事で、事業所総合防災力の維持強化を行う。		
②	情報セキュリティポリシーの策定	・情報セキュリティに対するリスクマネジメントは経営課題のひとつであり、かつ社会的責務でもあることから、情報セキュリティポリシーを策定し、情報の漏洩を抑止する。		
③	ICT・IoT の推進	・職員の稼働軽減を主体とし、インターネットの分離と WEB 会議に於ける通信品質の向上のため今年度民設民営の事業所に Aruba システムを導入する。		
④	ライフサイクルコストを加味した計画的な建物の予防保全を行う	・設備機器の故障による運用支障が発生しないよう、ライフサイクルコストを加味し対応年数を考慮した予防保全を計画的に行う。		

令和4年度

《年間予算表》 法人本部

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
他の社会福祉事業(法人本部)			91,080,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			91,080,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			24,320,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			54,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			28,202,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0			****		0		****	****		0
支払利息支出			0			****		0		****	****		0
その他の支出			204,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			200,000			0.0%		0		0.0%	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			256,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0			****		0		****	****		0
長期貸付金支出			7,950,000			0.0%		0		0.0%	****		0
積立資産支出			7,825,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
その他の活動による支出			656,000			0.0%		0		0.0%	****		0
支出合計(2)			69,667,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			21,413,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

※ 長期貸付金支出の内訳は、留学生への生活資金貸付金90万円（3名）と、奨学貸付金705万円（10名）。

※ その他の活動による支出は、次年度採用予定者の借上住宅契約に係る敷金相当分（概算予定8名）。

※

※

令和4年度

《年間予算表》 貸店舗

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
貸店舗		店舗6	16,003,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			16,003,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			3,500,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			0			*****		0		*****	*****		0
事務費支出			1,446,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0			*****		0		*****	*****		0
支払利息支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の支出			1,231,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			*****		0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0			*****		0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			39,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			0			*****		0		*****	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			9,500,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			15,716,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			287,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【令和4年 職種別を中心とする横断委員会】

情報交換の場で終わることのないよう、委員会毎の事業計画に基づいた運営を行う。

	名 称	責任者	開催日	時 間
1	総務委員会	伊藤俊浩	第4金曜日／月	15:30～18:00
2	生活サービス委員会	小島直樹	第2火曜日／毎月	15:00～18:00
2-1	・介護委員会	雨宮恵子	第2水曜日／奇数月	16:00～18:00
2-2	・看護委員会	雨宮恵子	第3月曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	16:00～18:00
2-3	・ショートステイ委員会	木村輝明	第4月曜日／年2回（4月/10月開催）	10:00～12:00
3	サービスセンター委員会	高橋貴枝	第3金曜日／月	16:00～18:00
4	地域包括支援センター委員会	高橋貴枝	第1金曜日／年4回（6月/9月/12月/3月開催）	16:00～18:00
5	ケアマネジャー委員会	早川太朗	第1金曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	16:00～18:00
6	ヘルパー委員会	東 理 江	第4月曜日／偶数月	10:00～12:00
7	管理栄養士委員会	東 理 江	第4水曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	15:30～17:30
8	情報セキュリティ委員会	木村輝明	第3木曜日／遇数月	16:00～18:00
9	ブランディング委員会	小島直樹	第3火曜日／月	14:00～18:00

【職種別横断委員会】

《総務委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	新型コロナウイルス感染症に関する新たな補助金が予想されるため、情報収集を行い、遅延無い申請手続きを行う。	・東京都、各保険者からの補助金に関する情報収集を行い、施設長会議に情報提供し、取得となる補助金の事務手続きを行う。		
②	外国人職員の生活支援について疑問や課題を出し合い、整理。事業所内で課題解決が出来るよう委員会としてサポートする。	・委員会の開催日にこだわらず、外国人職員の支援に疑問や課題が発生した場合は都度社内メールで共有。意見交換の後、委員会で整理。		
③	四半期毎の収支状況について、運営会議で話し合われた内容を踏まえ、各事業所の課題を整理。課題解決に向けた検討を行う。	・四半期毎の収支状況について、各事業所の課題を坂本会計事務所作成の諸表を基に解決に向けた検討を行う。		
④	総務課の業務マニュアルが無いことから、人事異動の度に業務に支障をきたしていたため業務標準化・手順書のマニュアルを作成する。	・給与、会計の処理方法等についての業務標準化・手順書のマニュアルを小委員会にて作成する。		

【職種別横断委員会】

《生活サービス委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令を遵守また、法人内サービスの質を管理し、支援技術の統一化、標準化を図る。	・各種指針の確認と管理。 ・内部監査の実施。 ・「虐待防止マニュアル」の定期的見直し。		
②	福祉人材となる学生に対する学びの機会として、実習受入れを継続する、また、実習以外の方法にて養成校との連携強化を図る。	・新型コロナウイルス感染症を想定した実習プログラムの構築 ・アウトリーチ活動の一環として、授業の講師依頼など積極的に受ける。		
③	外国人介護職員が不安なく着実に成長していくことが出来る様に、法人本部と連携を図りながら、支援をする。	・在留資格「介護」と特定技能1号等のグローバル採用職員の課題を共有し、研修や交流の場を設定するなど、継続的フォロー体制を構築する。		
⑤	法人のブランド力強化、また、介護・福祉のイメージアップを図る為に、「WEBメディア」を通じて、積極的に情報を発信していく。	・エビデンスに基づいたケアの「実践」、「多職種連携」、「地域貢献」、「人材育成」等幅広いテーマで記事を展開する。		

【職種別横断委員会】

《介護委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人全体の基礎介護の統一を図る。	・ 新任職員へ基礎介護研修の企画、運営を行う。 ・ 研修資料の見直し。		
②	人材育成の仕組みを適正に維持する。	・ 研修簿の運用状況を確認する。 ・ グローバル採用職員の育成支援を生活サービス委員会と連携して行う。		
③	感染症予防の知識・技術の浸透。	・ 予防策の徹底を看護委員会と連携し、介護職・ケアサポーター職に行きわたるよう指導する。		

【職種別横断委員会】

《看護委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	感染症予防の徹底を図る。	・ 指針に沿った指導内容の確認。 ・ 「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための平常時の衛生管理」の点検作業を行い、内容更新する。		
②	看護業務の統一化、標準化を図る。	・ マニュアルの定期確認。 ・ 情報交換による課題抽出と検討。 ・ 医療に関する研修講師及び統一した研修資料の点検を行う。		
③				
④				

【職種別横断委員会】

《ショートステイ委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人ショートステイ 7 部門間の情報共有を図り、サービスの質の標準化を図る。	・年2回委員会を開催。 ①4月 ②10月 ・各部門の運用状況を共有し、各部門の質の向上につなげる。		
		・部門間のつながりを強化し、利用者のニーズに法人として対応する。 ・本体の生活サービス委員会からのオーダーに対応する。		
		・各部門年1回の特養の内部監査における短期入所の項目に対応する。		

【職種別横断委員会】

《サービスセンター委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人内全通所事業所の利用率改善と維持を図る	・ SNS を活用した事業内容の発信 ・ 地域に求められるプログラムへの転換（機能向上・重度者受入れ） ・ 新たなプログラムの導入		
②	法令に則った規程、指針の整備	・ 専門チームにより、令和6年3月までに運営規程の変更と各指針の整備を行い、周知する。		
	自主点検表に基づく内部チェックの強化	・ 委員会としての訪問チェックに加え、各事業所が自主的に点検できるようプロセス、算定要件のチェック体制を整える。		
③	通所事業としての人材育成 ・ 専門職の育成 (機能訓練指導員、相談員、介護職)	・ 職種ごとに研修機会を設け、介護保険の運営基準に即した職種ごとの役割が意識できるよう支援する。		

【職種別横断委員会】

《地域包括支援センター委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	事例検討の場としての活用	・対応困難事例は一事業所のみ対応では苦慮することが多いことから、委員会にて事例検討の場を設け、解決に向けた対応を検討する。		
②	地域包括ケアシステムに基づいた支援内容の情報交換と共有	・地域包括ケアシステムは、保険者毎に内容が異なるため、各区の参考となる取組み等についての意見交換の場とする。		
③	高齢者の総合相談窓口として、専門職のスキルアップを図る	・介護、医療、生活支援、サービス事業者相談等々、多岐に渡る対応が求められることから、WEB研修の企画を行い、実施する。		

【職種別横断委員会】

《ケアマネジャー委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	昨年の介護保険改正で求められている規程類の整備を行う。	・パワーハラスメント防止の指針や、虐待防止、BCPの規程類整備を行う。		
②	全事業所が特定事業所加算を取得するよう、支援を行う。	・特定事業所加算を未取得の事業所に対し、必要な体制、書類整備、検討等の助言を行う。		
③	業務点検を計画的に実施する。	・昨年の台東に続き、小委員会による業務点検を全事業所に対し実施する。		
④	新人研修プログラムを活用した育成を行う。	・昨年作成した新人研修プログラムの活用により、指導忘れが無いよう、プログラムに沿った育成指導を行う。		

【職種別横断委員会】

《ヘルパー委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	適正な事業運営	・法人内自主点検（人員や設備、運営、介護給付算定等の点検/年1回） ・ヘルパーの適正な労働条件の確保（労働状況の確認、改善） ・適正なサービスの提供（訪問介護の手引きの見直し、作成と周知）		
②	感染症や災害発生時の適切な対応	・マニュアルの随時見直し及び作成（感染症、積雪、地震、台風、水害時等の発生時の対応手順とヘルパーの安全確保）		
③	働きやすい環境づくりと人材確保・人材育成	・業務改善（人事管理や記録、報連相等の効率化による負担軽減） ・労務問題の把握と改善 ・研修の実施（オンライン研修や各事業所内にでの研修・演習を実施）		

【職種別横断委員会】

《管理栄養士委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用者の心身状況に応じた加工食提供の取り組みを強化する。	・ソフト食、ペースト食提供につなげるため人員、予算、市販食品の使用等、委託会社と検討をしていく。 ・嚥下困難等、低栄養高リスク利用者の食形態変更を早めに提案し食事、おやつ等に栄養強化食品等添加し安全と見た目の良さを兼ね備えた調整を実施する。		
②	虚弱な利用者への対応を迅速にする。	・ラウンドでの情報や日誌等を活用し食事の変更の提案、多職種と連携し健康状態の維持、低下防止に努める。		
③	LIFE を活用した加算算定に取り組む。	・共通理解した上で各部署役割分坦し連携のもと進める。		
④	新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底する。	・新しい型への対応策を協議し陽性者が発生した際の迅速な対応を準備する。		

【職種別横断委員会】

《情報セキュリティ委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	委員会範疇での個人情報に関する規程類の管理、必要に応じた修正とその周知を行う。	・各種規程類の修正や変更を要する場合、施設長会議に諮り、関係部所の協力を得ながら実行する。		
②	法人内全事業所の「個人情報保護の内部監査」を実施する。その結果報告を行う。また指摘事項については各事業所で改善に努めてもらう。	・各部門の委員は内部監査の結果報告を部門内で検討を行う。また監査結果と改善については部門内へ報告を行う。個人情報について研修を実施する。		
③	個人情報を扱う情報機器や SNS などの情報発信ツールに関して適正な使用や課題への対応等について現場への周知を行う。	・情報機器や発信ツールが現場で適正に使用されるように情報周知を行う。また現場からの質疑について応答できるように委員会内で情報共有を図っていく。		

【職種別横断委員会】

《ブランディング委員会》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の中長期計画に基づく人材確保について、新卒・キャリア・グローバルなどあらゆるチャンネルを駆使し、着実に進める。	・コロナ禍においても有効的な採用活動の手段を講じ、採用計画に基づいて年間スケジュールを作成し、着実に実行する。		
②	採用活動担当職員と広報委員会を効果的に活用し、有機的な連携を図る。	・広報委員と採用活動担当職員の役割を明確にすると共に、必要な知識取得、意識統一を目的に定期的に会議等を開催する。		
③	法人のブランド力強化、また、介護・福祉のイメージアップを図る為に、WEBメディアを通じて、積極的に情報を発信していく。	・広報誌「クローバースマイル」の年2回発行。 ・「WEBメディア『クローバースマイル』」の運用。(原則、週1回更新)		
		・SNSの拡散効果を存分に活用し、法人や各部門の「Twitter」と「WEBメディア」をリンクさせることで、閲覧数を増やす。		

【足立部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	本館・別館ともに老朽化による建物および設備機器の修繕対応を計画的に実施する。	・利用率、収支状況を把握し、法人管理課の協力を得ながら進める。		
②	ハローワーク・人材紹介会社を活用し、人材を確保と職員定着を特養と連携しながら進める。	・早期に面接設定を行い、雇用機会を逃がさないように対応し、また採用後の職員定着に向けてフォローしていく。		
③	環境整備を実施しご利用者の生活環境の向上だけでなく、職員が働きやすい環境整備も目指す。	・衛生面に配慮し綺麗で過ごしやすい環境整備の為に清掃の実施や整理を強化する。		

《部門特記事項》

- ① 特養本館 4F 機械浴槽昇降機改修工事 見込工事費 10,000,000 円
- ② 本館高架水槽入替工事 見込工事費 20,000,000 円
- ③ シルバーホール・別館建替え工事用資金積立て積立予定額 20,000,000 円

令和4年度

《年間予算表》 足立部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	220	91.0%	967,623,000			0.0%		0		0.0%	****		0
短期入所生活介護	16	95.0%	72,183,000			0.0%		0		0.0%	****		0
通所介護	35	80.0%	95,655,000			0.0%		0		0.0%	****		0
認知症対応型通所介護						#DIV/0!		0		#DIV/0!	****		0
地域包括支援センター			58,193,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			1,193,654,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			763,922,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			171,030,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			147,744,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			672,000			0.0%		0		0.0%	****		0
支払利息支出			0			****		0		****	****		0
その他の支出			2,916,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			41,990,000			0.0%		0		0.0%	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,370,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			1,692,000			0.0%		0		0.0%	****		0
長期貸付金支出			0			****		0		****	****		0
積立資産支出			28,316,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			9,863,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の活動による支出			0			****		0		****	****		0
支出合計(2)			1,170,515,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			23,139,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

- ※ 介護老人福祉施設 サービス収入の内、5,906,000円は補助金収入含む
- ※ 介護老人福祉施設 積立資産支出の内、別館建て替え費用として20,000,000円の積立を含む
- ※
- ※

【足立部門】

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員がより安心して働くことが出来る環境を整え、職員の定着率の安定を図る。	・対応困難事例や「困りごと」を表面化させ、施設全体で対応する。 ・経営層とフロア職員の情報共有ができる仕組みを作る。		
②	感染症予防に努め、入院平均延べ日数 300 日/月以下、また、空床平均延べ日数 45 日/月以下にする事で、平均入居率 91%以上を確保する。	・入院中もご家族と積極的に関わり、情報を共有する。 ・利用率が改善するまでの間、SS相談員、係長への実調業務依頼。		
③	研修・委員会・会議を予定通りに着実に開催し、ケアの質を高めるために職員の知識と技術の向上を図る。	・各委員会、フロア会議を計画通り、着実に開催する。 ・「オンライン」を活用し、外部研修も含め、計画的に研修を実施。		
④	残業の削減の為に業務の効率化を図る。	・今後もフロアを越えた調整を継続、夜勤専従職員の配置を継続。 ・キャリア採用職員入職時研修を都度計画し、確実に開催し、「独り立ち」迄の期間短縮をはかる。		

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	褥瘡・低栄養高リスク者への栄養価のアップ、また、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら「食」の楽しさを提供する。	・提供方法、付加食品の選定。 ・「新株」においても迅速に対応できる策を委託会社と継続的に協議。 ・フロアでのおやつの盛り付け等の計画、実施。		
⑥	看護係内の情報共有を強化し、課題については迅速に対策を講じ、改善を図る事で多職種連携の質向上、利用者（家族含む）満足向上、入院期間の短縮を目指す。	・医療的な観察ポイントを明確化し、アセスメントしていく ・利用者、家族の意思を都度確認し、それらを尊重した看護を意識する。		
⑦	【ショートステイ】 ・ご利用者の体調管理、感染症予防対策の継続。 ・ご利用者個々へのケアを充実させる。	・自宅での体調管理を継続して利用者等に依頼、利用前の確認徹底。 ・毎月の会議で課題や状態を情報共有、迅速にケア変更に対応する。 ・アセスメントから導いた課題に対し、機能訓練指導員と連携して、必要なサービスを提供する。		

【足立部門】

《デイサービスセンターはなはた 一般》

〈令和 4 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間平均利用率を 80%以上、利用者登録人数 90 名以上を確保し、事業運営の安定化をはかる。	・重度者や対応困難者、総合事業利用者の柔軟な受入。 ・「中重度加算」など、未算定の加算について、年度内に算定で調整。		
②	職員一人ひとりの専門性を高め、各活動の意義や目的を理解した上で提供することで、サービスの質向上をはかる。	・各会議の効率性と質向上 ・各活動グループで定期的に評価し、効果的（身体機能維持、認知症予防）なサービスを提供する。		
③	人材育成。 職員のスキルアップ、観察力、見守り力の向上を図る。	・計画的な内部研修の実施。その他外部研修への積極的参加。 ・モニタリング結果を共有し、ケアの統一化、PDCA サイクルを回す。		
④	地域貢献。 地域サービス事業の実施。	・コロナ禍においても来食サービスを他課と連携して、継続する。 ・クローバー大学は地域の情勢を見ながら開催調整を図る。		

【足立部門】

《足立区地域包括支援センターはなはた》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	働く環境の向上	・ 欠員（1名）状況を改善する。 ・ 職員のストレスマネジメント（Do-Cap 面談の活用、相談できる環境、業務の均等化）の実施		
②	新規事業の遂行 （出前相談会・本人ミーティング・自主グループの立ち上げ等）	・ 新たに今年度より始まる事業を担当者中心に所内で職員全員で検討し、協力して行う。		
③	訪問支援事業の継続（3年目）	・ 月 120 件（一人 20 件以上）を最低ノルマとし、コロナ禍で訪問できなかった対象者に接触する。必要な情報提供やつなぎを行う。		
④	地域との連携	・ 出前講座の実施 ・ サロンや町会、自治会へのあいさつ回り ・ 機関紙の配布		

【扇部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	財務基盤の強化へ向けた取り組み	・安定した運営に向けて、利用率の維持と人件費他支出全般、事業活動収益の見直しと対策について、スタッフ会議にて共有・検討しながら実施していく。		
②	施設業務の最適化へ向けた取り組み	・情報を集約し、施設の調整役として各部署と連携しながら、効果的に施設業務を改善、改良していく。		
③	円滑な業務の遂行と体制づくり	・業務内容や役割を整理する ・OJT や研修等によるスキルアップ ・多種多様な業務への柔軟な対応と効率化		

《部門特記事項》

- ① 全館電話設備及びナースコール更新工事 (足立区) 令和4年6月～9月予定 ※R.4.1 設計段階
- ② 厨房排気システムアクアフィルター更新工事 (足立区) 1,180,000 円

令和4年度

《年間予算表》 扇部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上 期 執行額	上 期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	76	96.0%	342,384,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
短期入所生活介護	4	100.0%	18,703,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
通所介護	30	67.0%	67,665,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
認知症対応型通所介護	12	60.0%	36,010,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
訪問介護(高齢)		月平均20名	15,573,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
地域包括支援センター			61,152,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			541,487,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			365,956,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			78,516,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			80,602,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			195,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
支払利息支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の支出			1,988,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			*****		0		*****	*****		0
固定資産取得支出			360,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,205,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			3,843,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間繰入金支出			4,577,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			538,242,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,245,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【扇部門】

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養 96%、ショートステイ 100%以上の利用率を確保し、安定した経営基盤とする。	・待機者 2 名以上を確保、退所後 14 日以内の入所。月 2 回検討会議。 ・ショートステイは 4 床の専用個室に空きが出た時は、速やかに居宅介護事業者へ連絡し調整をする。		
②	新型コロナウイルス感染症等の感染予防、発生に備えた取り組み。	・発生時の適切な対応、サービスの継続ができる様に計画を策定する。 また訓練を実施して備える。		
③	改善計画に基づいた取り組みの実施。サービスの向上と、働きやすい職場作りに努める。	・認知症について研修を実施。対応困難な事例については会議や委員会で検討して適切な対応につなぐ。 ・毎月の声掛け、気づきのカード取り組み継続、職員の声に対応する。		
④	職位、職種ごとの役割を明確にし、円滑な業務遂行と計画的な研修実施、会議内容を見直し、サービス向上を図る。	・職位、職種ごとの役割を整理し、円滑で確実な業務を遂行する。 ・チーム会議の運営を見直す。 ・年間計画に基づき研修を実施。		

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	施設設備の改修を通して、サービスの向上を図る。	・ナースコールの更新、インカムの導入を予定。次年度の機械浴槽入れ替え準備。利用者の安全確保、満足度の向上につなげる。		
⑥	災害に備え、防災の知識・技術を習得し、自衛消防を強化。	・防災委員会を中心に技術、知識の習得。対応力の強化につなげる。 ・防災訓練マニュアルの見直し、防火や水害時の避難訓練を実施する。		
⑦	制度改定に伴う運営基準や方針を理解し、適切な取り組みや検討を行っていく。	・褥瘡、排泄、科学的体制推進、安全対策体制加算の算定。 ・事故対策や委員会活動を見直し安全対策体制の強化を図る。		
⑧	感染症発生時における、適切で安全な食事提供。	・発生時も適切で安全に食事を提供できるように外部業者との連携を図る。訓練も実施しながら、対応マニュアルを必要に応じて見直す。		
⑨	低栄養高リスク者へ改善の取り組みについて。	・給食にて、おやつ代替の方に添加する物、施設負担で状態に応じた形で高栄養食品を提供し改善を図る。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 67% (20 名)、登録率 90% (27 名) 以上を確保する。	・居宅介護支援事業所への定期的連絡と訪問を実施。 ・入浴、余暇活動など利用者ニーズを把握し応えていく。 ・ワンデイ利用の働きかけを積極的に行う。 ・科学的介護推進体制加算の取得の向けて取り組む。		
②	自立支援に向けた、適切で満足度の高いケアサービスの実施。	・介護計画書や家族本人の意見を聞きつつ、個々の要望や状態を的確に把握、目的に沿った支援を行う。 ・生活リハビリ提供意識の強化。 ・提供時間を意識し、有効活用。		
③	職員個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・センター会議で接遇、基礎介護等の課題を検討、再確認し合い、実践していく。研修の実施。 ・職員間で、都度伝え合いができる環境づくり。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 認知》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 60% (7 名) 以上を確保する。	・居宅介護支援事業所への定期的連絡と訪問の実施。 ・ワンデイ利用の積極的な働きかけ ・重度化対応への機械浴活用。 ・科学的介護推進体制加算の取得の向けて取り組む。		
②	在宅生活の継続性を活かし、認知症状（周辺症状）の改善に繋げる支援を実施する。	・在宅での日課や日常生活動作などを把握し、能力維持への働き掛けを行う（生活リハビリの提供含む）。 ・穏やかな環境で個別支援を行う。 ・併設の浴室を活用しつつ、個々に合わせた入浴の提供を行う。		
③	職員個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・センター会議で接遇、基礎介護等の課題を検討、再確認し合い、実践していく。研修の実施。 ・職員間で、都度伝え合いができる環境づくり。 ・適切なケア方法の指導と伝達。		

【扇部門】

《ヘルパーステーション扇》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営を目指し、月平均350時間以上のサービス提供に努める。	・定期的な空き情報の提供とPRに努め、新たな顧客を獲得する。 ・運営基準に沿った適切なサービスの提供と利用者ニーズへの対応。		
②	ヘルパーの確保と定着を図る	・採用活動の継続。 ・適正な労働条件の確保と改善。 ・ヘルパー会議等での意見交換や要望など働きやすい環境づくり。		
③	個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・法人内合同研修（年5回）、感染症、個人情報等の全体研修を予定。コロナ渦における合同研修はリモート研修に置き換える。		
④	新型コロナ感染症等の予防策・発生時の対応を適切に行い事業の継続、安心・安全なサービスを提供していく。	・感染症マニュアルの整備。 ・ガウンテクニック等の演習 ・定期的にあセスメント、モニタリングを行い、関係事業者との情報共有、連携により、希望や状態にあったサービスを提供する。		

【扇部門】

《足立区地域包括支援センター扇》

〈令和 4 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	若年層に向けて高齢期の準備期間、または地域づくりの担い手として活躍できる場の提供、人材の発掘を目指す。	・西部ブロック合同による多世代交流の機会をエリア内の公園を活用。元気高齢者の活躍の場、次世代の地域作りの担い手の創出を目指す。		
②	地域包括が店舗や公共の場を活用し、出張相談を行う。	・地域の交通機関を利用して中々出向けない高齢者の相談窓口として、地域に出向いて行う。		
③	自主グループの創出	・元気アップ教室などに参加したメンバーの中から、自主的に運動を取り入れたサロンなどを最低 1 グループ創出する。		
③	地域の課題把握	・実態把握、第 2 層協議体などを通して地域の課題を把握し地域ケア会議など活用し解決に向けて取り組む。		

【六月部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	新たな構成メンバーで各事業の収支状況や処理状況を共有し、適切な事業運営継続を図る。	・定期的に総務会議を行い情報や状況共有を図る。 ・月次報告状況を各部署の責任者に伝え改善策等を共有する。		
②	事業運営の妨げとなる各種災害に対応できるよう各部署、委員会と協力し環境整備を図る。 (労働災害、感染症、水害、地震等)	・各委員会との連携し総務として得た情報を提供して協働で予防に努める。 ・対策物品の購入、管理を行う。 ・予防対策等の積極的に発信する。		
③	設備修繕や物品購入等は優先順位を現場と協議の上精査し、計画的に進める。	・経年劣化による不具合への対応は迅速に区と協議し進める。 ・備品の故障、買替は原因や理由を管理課の助言を受けながら明確にし、適切な運用を促す。		

《部門特記事項》

①ケアハウス空調交換工事（3ヶ年計画）2期目実施。

④施設内空調設備不具合は故障発生の都度足立区と協議し対応する

②デイサービスセンター特殊浴槽の交換（足立区に見積もり提出済）

③非常用バッテリー交換（290個）（足立区に見積もり提出済）

令和4年度

《年間予算表》 六月部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	50	96.0%	245,686,000			0.0%		0		0.0%	****		0
短期入所生活介護	5	100.0%	25,535,000			0.0%		0		0.0%	****		0
通所介護	25	65.2%	57,791,000			0.0%		0		0.0%	****		0
認知症対応型通所介護	12	62.0%	35,372,000			0.0%		0		0.0%	****		0
居宅介護支援事業		1人月35件	35,915,000			0.0%		0		0.0%	****		0
訪問介護(高齢)		56	53,017,000			0.0%		0		0.0%	****		0
訪問介護(障がい)		1名	3,900,000			0.0%		0		0.0%	****		0
ケアハウス	80	87.5%	143,413,000			0.0%		0		0.0%	****		0
地域包括支援センター		300件/月	70,294,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			670,923,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			391,127,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			110,130,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			126,335,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			336,000			0.0%		0		0.0%	****		0
支払利息支出			0			****		0		****	****		0
その他の支出			2,566,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			3,090,000			0.0%		0		0.0%	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,243,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0			****		0		****	****		0
長期貸付金支出			0			****		0		****	****		0
積立資産支出			3,948,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			4,480,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の活動による支出			0			****		0		****	****		0
支出合計(2)			644,255,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			26,668,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【六月部門】

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 専門職間で連携し利用者の心身状況の変化に早期に適切に対応して極力入院にならないよう支援する	・基礎介護力向上の為の課題を明確化し研修等で専門性を高める。 ・看取り対応が適切な時期から実施する為の調整を行う。		
②	職員の業務軽減と人材育成実施 ・職員の業務見直しを図り効率的な業務実施に取り組む。 ・新人職員や経験の浅い職員等人材の底上げを図る。	・書類、様式類の見直しで業務軽減を図る。 ・ICT, IoT の効果的運用を具体的に検討する ・個々の課題を明確化し指導する。		
③	感染症予防対応を行いながら生活の質を維持する。 感染症予防対策を講じながら行事や日常の活動を再開する。	・飛沫防止などの対策をしながら、行事やグループ活動を提供する。 ・家族との交流継続により安心感を維持できるよう支援する。		
④	嚥下困難者への適正な対応	・適切な食形態の変更を迅速に提案する。 ・安全性と見た目の良さを兼ね備えた食事を提供する。		

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	短期入所生活介護の目標利用率 100% ※ショート（個室）、特養空床利用 合算での目標	・選ばれる施設になる為の居室環境整備、個別ニーズへの対応を実施。 ・複合施設としての利便性を居宅介護支援事業者にアピールする。		
⑥	利用に関する問合せや連絡等への迅速な対応を徹底し、信頼性の向上を目指す。	・問合せ、連絡等には迅速、適宜回答できるよう体制を再構築する。		
⑦	ショートステイ利用後、自宅に戻ってからの生活を意識した自立支援ができるよう、個別的なサービスを提供する。	・在宅生活を意識した個別支援計画を作成する。 ・定期的にモニタリングを行い、現状に合わせ随時修正し実施する。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：65% 曜日ごとの登録者を定員25名で安定させる。	・前期に曜日ごとの利用登録者を定員の25名で安定させる。 ・居宅介護支援事業者との信頼関係を構築し新規利用者を獲得する。		
②	感染症予防対策を講じながら利用者の機能維持、向上を意識した活動を実施する。	・楽しみながら体を動かし、仲間との一体感を得る活動と、個々の機能に合わせた機能訓練的な活動を継続的に実施する。		
③	職員間の情報共有を徹底して、心身状況の把握、処置、関係機関との連携を図り、重度利用者にも対応する。	・通所介護計画の内容をより具体化し、職員間共有を徹底する。 ・関係機関との連絡、連携を強化し適切に対応できる体制を作る。		
④	自立支援、日常生活機能維持、向上を意識したサービスを提供する。	・個別機能訓練加算算定のプロセスを確実に実施し対象者を増やす。 ・相談員等関係職員が協働し日常生活状況を反映した支援を行う。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 認知》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：60% ※目安、1日の実利用者7名以上	・曜日ごとの利用登録者を定員12名となるよう計画的に新規利用者獲得、一般通所からの移行ができるよう関係機関と連携する。		
②	感染症予防対策の徹底	・感染予防対策を継続、徹底する。 ・認知症により自らの不調を訴えることが難しい利用者に対して体調の変化を早期に発見し関係機関と協力して対応する。		
③	個々の心身状況に合わせてプログラムの提供 ※個々の有する機能を活かしたプログラムの提供	・個々の心身状況をより具体的に把握しその有する能力、機能にあったプログラムを実施する為に職員体制や物品、環境の整備を行う。		
④	コロナ禍でできる地域との連携を継続する	・直接的な交流が困難な状況下でも地域との結びつきを感じることができる方法を構築する（PCの活用、作品の交換等）。		

【六月部門】

《足立区ケアハウス六月》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間を通して目標利用率 87%を達成し維持。 ・心身機能低下が原因での退所を予防する。	・介護認定のない利用者には個別支援計画作成時により具体的な予防対策案を示し、ケア統一を図る。		
②	目標利用率 87%の達成と維持 ・募集要件を満たす入居希望者募集に効果的な宣伝活動を実施する。	・タブレット端末や PC などを活用して生活エリアに入ることなく居室やフロア案内を行う。 ・地域に向けて事業内容をアピールする。		
③	感染症予防対策を行いながらフレイル予防の為に活動実施。 これまで行ってきた行事や活動の方法を見直し再構築する。	・3密を回避したフロアごとの体操実施。 ・感染状況に合わせた行事の実施 ・施設内委員会協力の下イベント開催。		
④	経年劣化備品の計画的な交換	・空調交換工事（3ヶ年計画）2期目の安全な実施。居室トイレ便座の入替。 ・感染予防の為に環境整備継続		

【六月部門】

《ケアマネージメントセンターはなはた》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営 ケアプラン作成件数：35件／1人 新規受託件数の維持、各種加算の安定した取得継続。	・特定事業加算Ⅱ体制の維持 ・職員6名体制による収支改善 ・地域包括支援センターへケアプラン作成可能件数を毎月報告する。		
②	職員育成 ケアマネジメントに関する知識、技術を養い、利用者に質の高いケアマネジメントを提供する。	・個別研修計画に沿った研修受講（1人4回／年） ・新人ケアマネマニュアルを活用し、段階的な業務評価を行う。		
③	適正な事業運営 適切な業務、法令遵守を徹底管理し、ケアマネジメントプロセス確認表を用いて自己点検を継続する。	・ケアマネジメントプロセス確認表を活用した漏れの無い業務継続。 ・月1回ケアプラン点検を行い、根拠のあるプラン作成を行う。		
④	地域との関係構築 コロナ禍で希薄となった地域とのつながりを再構築することで、地域での役割を持った事業を行う。	・絆あんしん協力機関として、あんしん連絡会へ参加する。（4回／年） ・医療介護連携に関する研修へ積極的参加（事業所として3回／年）。		

【六月部門】

《ヘルパーステーション六月》

〈令4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営の継続 1日の平均訪問件数 50 件維持	・関係機関と連携して必要な人材の確保を継続する（登録ヘルパー） ・安定した訪問先の確保と定期的なサービスの見直し、調整。		
②	職員、登録ヘルパーの研修体制継続 感染症拡大で集合開催できない必須研修の適切な研修。	・個別ケースについては定期的に同行訪問しサービス提供状況を確認し適正化を図る。 ・小グループ、課題提出型での研修実施と継続。		
③	運営規程の見直し、指針の整備、マニュアルの見直しを行う。	・法人内同種事業所を連携して運営規程、指針を整理し期限までに作成する。マニュアルは現状に合わせて見直し周知する。		
④	利用者、家族、他職種との連携強化を図り適切に対応する。	・個別の感染症発生時の対応を記録し共通部分をマニュアル化しておく。 ・状況は正確に把握し伝達し、協力体制を構築する。		

【六月部門】

《足立区地域包括支援センター六月》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	総合相談支援では、コロナ禍が継続する中把握された身体機能低下、認知機能低下等高齢者が抱える課題に対して適宜必要な相談対応を行う。	・実態把握訪問調査を通じ体力低下等のある方に、介護予防事業の紹介を行う。 ・認知症状等が感じられる方に受診勧奨や受診支援を行う。		
②	虐待や多問題状態、消費者被害等が生じている高齢者に、尊厳のある生活を維持し生活が継続できるよう権利擁護の為に必要な支援を行う。	・成年後見制度の活用相談支援。 ・消費者被害の防止に関する情報提供。 ・高齢者虐待通報の全件対応。		
③	包括的・継続的ケアマネジメント支援に対して地域の介護支援専門員や医療関係者との定期的な交流機会や情報交換・相談でサポートする。	・地域ケアネットワーク研修会、情報交換会の開催。 ・医療介護連携事業における研修や交流会への出席。		
④	高齢者のフレイル予防を推進すべく、介護予防教室の定期開催及びその後の参加者の自主運営化など、通いの場を地域に作る。	・公園を活用したウォーキング講座の開催及参加者の自主グループ化。 ・認知症があっても通える居場所を地域に作る。		

【千住部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	建物や設備の安全を維持するために、耐用年数超過、経年劣化による設備機器、備品等の交換、修繕を計画的に進める。	・法令を遵守し、緊急性が高い物を優先し対応を進める。		
②	安定した事業運営のために、各サービスの適正収益を確保する。	・毎月各サービスの目標利用率維持及び収支状況を各部門と共有。 ・安定した事業運営のために適切な人材を確保する。		
③	災害や感染症による有事に対応した事業継続ができるよう備える。	・災害や感染症の蔓延に備え備品や備蓄の不足が生じないよう管理と補充を行う。 ・災害BCPと感染症BCPに基づいた訓練を全部署協働にて実施する。		

《部門特記事項》

①	電動ベッド修理	令和4年度後期	見込修理費	1,500,000円
②	加圧給水ポンプユニット交換工事	令和4年度後期	見込工事費	1,800,000円
③	I H調理器購入	令和4年度後期	見込購入費	551,000円
④	グループホーム 掘りこたつ撤去、床張り替え工事	令和4年度後期	見込工事費	1,115,000円

令和4年度

《年間予算表》 千住部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(新型)	100	95.0%	542,128,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
短期入所生活介護	20	95.0%	107,776,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
通所介護	35	82.0%	91,126,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
認知症対応型通所介護	12	77.0%	44,315,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
居宅介護支援事業		258件	61,391,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
グループホーム	18	98.0%	91,293,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			938,029,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			635,337,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			116,144,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			108,751,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			174,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
支払利息支出			5,575,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の支出			3,630,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			46,360,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
固定資産取得支出			2,566,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,776,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			5,768,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間繰入金支出			5,013,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			937,094,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			935,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※ 収入の内、介護老人福祉施設は4,240,000円を東京都経営支援補助金として、居宅介護支援事業所：330,000円、グループホーム：330,000 は第三者評価補助金として含む。

※

※

【千住部門】

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、適正収益を確保する（利用率目標 特養単体 95%）。	・多職種協働での支援の強化。 *ダブルチェック、多職種と合議する機会を持ち予防的ケアの実施。 ・退所後空床の入所平均日数の短縮。 *空床待機者を常時6名以上確保。 *空床後の入所平均日数7日以内。 ・自立支援促進加算の算定（後期）。		
②	新規職員の獲得や職員が定着できる働きやすい環境を作る。	・オンラインや外部講師による経験別の介護研修の実施。 ・主任以上による現場職員への日々の声掛け、必要時面談の実施。 ・ICT補助金を活用し各職種の処遇計画や記録をOA化。 ・ケアサポーター、短時間介護専門職（食事/入浴）の積極的採用。 ・介護職の長期休暇取得（5連休）。 ・新型コロナウイルス感染症に留意した実習生の受け入れ。		

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	利用者の尊厳を守り、安全に安心して過ごしてもらうため体制を整える。	・不適切な対応、虐待防止の取組。 ・新型コロナウイルス感染症を含む感染症の侵入や蔓延の予防。 ・事故の再発予防の検討、対策の周知や実施。 ・入居者が快適に過ごせる環境(しづらえ)を整える。		
④	どの食事形態であっても美味しく安全に食べられる食事の質の維持・向上。	・視覚からも食思が向上する加工食(ソフト食)の提供。 ・災害や感染症蔓延時に適切な食事が提供できるよう備蓄食や食器の見直し。		
⑤	安定した事業運営のため、短期入所生活介護の適正収益を確保する(利用率目標 短期入所生活介護単体95%)。	・毎月4名以上の新規利用者を獲得し登録者数100名以上を維持。 ・ご利用者やケアマネージャーに必要な利用日数、利用回数を増やしてもらう働きかけを行う。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 82%）。	・登録者数の確保（一般 110 名・総合 事業 15 名）。 ・サービス紹介チラシを作成し居宅 ケアマネに計画的に配布や訪問。 ・コロナ禍でも利用者が安心して選 択し、実施できる活動を増やす。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・感染症蔓延防止と支援継続のため、 職員の対応確認と環境の確認を定期 的に実施。 ・虐待の芽チェックリストの実施。 ・安全運転者講習の実施（年 1 回）。 ・オンラインを活用し積極的に研修 を受講する。		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・コロナ感染症の状況を勘案しなが ら、地域で活動・活躍を行っているボ ランティア等を積極的に受入。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 認知》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 77%）。	・登録者数を 36 名以上確保する。 ・一般通所介護と連携し、該当利用者 の認知症対応型への適切なサービス 変更を行う。 ・サービス紹介チラシを作成し居宅 ケアマネに計画的に配布や訪問。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・感染症蔓延防のため、職員の対応確 認と環境の整備を定期的実施。 ・虐待の芽チェックリストの実施。 ・安全運転者講習の実施(年1回)。 ・オンラインを活用し積極的に研修 を受講する。 ・認知症実践者研修の受講(常勤)。		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・コロナ感染症の状況を勘案しなが ら、地域で活動・活躍を行っているボ ランティア等を積極的に受入。 ・認知症を有する利用者に特化した 活動を実施する。		

【千住部門】

《ケアマネジメントセンター千住桜花苑》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者数を確保し、特定事業所加算Ⅱの算定事項を遵守して行く。	・ケアマネ全員が目標プラン数を持つ(285件)。 ・管理者である主任ケアマネが中心となり、会議開催、研修計画等を立案する。		
②	介護保険制に精通し業務遂行上不備のないように職員間で情報を共有する。	・プロセス確認表を運用し職員個々の資質の向上にもつなげる。 ・週1回の会議を活用し介護保険制度やサービスの情報を共有する。 ・ICTを活用し研修等に積極的に参加する。		
③	感染症や災害発生時にも支援が継続できるよう体制を整える。	・施設のBCPに準じ、居宅介護支援事業における災害や感染症に備えた支援継続のマニュアルを作成し行動訓練を行う。		
④	地域の高齢者ができる限り地域での生活を継続できるように、行政や各サービスとの連携を強化する。	・地域包括支援センターや併設事業所と連携し、シームレスな支援を実施する。		

【千住部門】

《高齢者グループホーム千住さくら》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、適正収益を確保する（利用率目標98%）。	・入居者のリスク状況を把握し、体調不良や事故を未然に防ぎ、入院を予防する。 ・入院と退所後空床の年間総日数を120日以下とする。 ・次年度サービス提供加算Ⅰ算定に向け介護福祉士有資格者を確保。		
②	入居者が安全に、安心な暮らしが消え属できるよう職員の質の向上を図る。	・虐待防止研修及び虐待の芽チェックリスト実施(年2回)。 ・感染症対応について、ゾーニング、必要物品、感染対応動作、環境整備を行い、行動訓練を実施。 ・災害に備えた訓練の実施(毎月)。		
③	感染症の蔓延に留意ながら、認知症を有する入居者の暮らしの質の向上を図る。	・オンライン環境の使用方法を職員が修得し、家族面会ははじめ外部との交流を持つ。 ・室内で行えるレクリエーションや脳トレの実施。		

【花畑部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	収入・支出の内容を精査して、無駄のない運営を目指す。並行して建物・設備の修繕計画に沿った資金積立を行う（目標額：年間1500万円）	・毎月の会議で、予算執行状況や、労働環境等の情報共有を図る。 ・新たな加算取得に向けての、適正な人材確保。		
②	新卒総務職（会計担当）の入職をふまえ、総務課職員用研修簿を作成し、試行的に実施する。	・業務の洗出しをもとに、研修簿（案）を作成する。 ・介護職の育成プログラムに準じて、トレーナー制度を導入する。		
③	自然災害及び感染症発生時に、事業継続ができるよう、災害対応力の強化を図る。	・BCPに沿った訓練の実施。 ・必要物品の在庫確保。 ・感染予防への日常的な対応行動の徹底。		

《部門特記事項》

①固定資産購入 パソコン更新15台 @150,000×15台＝2,250,000円

②「眠りスキャン」リース @62,975×12ヵ月＝755,700円

令和4年度

《年間予算表》 花畑部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	40	94.0%	182,271,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
介護老人福祉施設(新型)	100	95.0%	545,854,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
短期入所生活介護	20	70.0%	79,688,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
認知症対応型通所介護	12	65.0%	38,647,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
居宅介護支援事業所			0			*****		0		*****	*****		0
収入合計(1)			846,460,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			556,291,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			97,395,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			110,061,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			1,092,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
支払利息支出			5,979,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の支出			2,736,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			54,180,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
固定資産取得支出			2,450,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			3,193,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			5,028,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間繰入金支出			1,305,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			845,710,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			750,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	
①	目標利用率：95% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を 平均 10 日以内で行う。入居待機者 3～5 名を常時確保していく。		
②		・課題分析と改善策の検討を行い、 年間総入院日数 1500 日以内とする ・適正な介護度での支援が出来る よう、区分変更の必要な入居者に対 し見直しを行う。		
③		・後期迄には科学的介護推進加算 において、上位加算Ⅱを取得を目指 す。また、継続した排泄加算Ⅰ、褥 瘡加算Ⅰ・Ⅱ、個別機能訓練加算Ⅰ・ Ⅱは継続する。		
④	排泄ケアの継続した見直しを行い、 オムツ使用コスト、前年度維持で推 移出来るよう取り組む。	・パット類は単価や製品特性を意 識し利用者ごとの見直しを図る。 ・利用者の安心、業務軽減の双方の 視点で検討を行う。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	新型コロナウイルス等感染症に対する知識と備えを全職員(ケアサポーター含む)が理解し、蔓延防止に取り組む。	・全職員へ確実に研修を実施。 ・リーダー会議で実施状況を確認し、修正、周知、再理解を図る。 ・環境整備の日を設け、共有部の清潔を保つ。		
⑥	重度化による介護職員の負担軽減を重点課題とし、積極的に福祉機器の導入推進を図ると共に、それを適切に使う。	・各種センサー、移乗補助用具、入浴補助具等を各ユニットに整備。 ・委員会等が主体となり眠りスキャンよりデータ分析し、職員の効果効率的な動きに繋げていく。		
⑦	係長・主任・リーダーを中心とした新しい組織によるフロア・ユニット運営を行い、不適切な対応撲滅に取り組むと共に、やりがい・働きやすい職場作りを促進する。	・各会議で“不適切対応・虐待防止・働きやすい環境”について振り返る。 ・各役職者、トレーナーが指導・育成について理解を深める場を設け、同じレベルの指導を行う。		
⑧	目標利用率：70% 事業安定を図るため、ショートステイ 20 床ベッドの稼働に向ける。	・窓口担当者 3 名体制を整える。 ・支援内容の見える化を図り、営業活動の資料を充実させ、60 名の実利用者数を確保する。		

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：94% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を平均7日以内で行う。 ・入居待機者男性1名、女性1名を常時確保していく。		
②		・課題分析と改善策の検討を行い、年間総入院日数784日以内とする。 ・適正な介護度での支援が行われていくよう、区分変更の必要な入居者に対し見直しをしていく。		
③		・4月より科学的介護推進加算について上位加算Ⅱを取得。また継続した排泄加算Ⅰ、褥瘡加算Ⅰ・Ⅱ、個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱは継続。		
④	排泄ケアの継続した見直しを行い、オムツ使用コスト、前年度維持で推移出来るよう取り組む。	・パット類は単価や製品特性を意識し利用者ごとの見直しを図る。 ・利用者の安心、業務軽減の双方の視点で検討を行う。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	新型コロナウイルス等感染症に対する知識と備えを全職員(ケアサポーター含む)が理解し、蔓延防止に取り組む。	・全職員へ確実に研修を実施。 ・リーダー会議で実施状況を確認し、修正、周知、再理解を図る。 ・環境整備の日を設け、確実に共有部の清潔を図っていく。		
⑥	重度化による介護職員の負担軽減を重点課題とし、積極的に福祉機器の導入推進を図ると共に、それを適切に使う。	・各種センサー、移乗補助用具、入浴補助具等を各ユニットに整備。 ・ケア検討委員会、係長、リーダーが主体となり眠りスキャンよりデータ分析し、職員の効果効率的な動きに繋げていく。		
⑦	係長・リーダーを中心とした新しい組織によるフロア・ユニット運営を行い、不適切な対応撲滅に取り組むと共に、やりがい・働きやすい職場作りを促進する。	・毎月の諸会議にて必ず“不適切な対応・虐待防止”及び働きやすい環境づくりを振り返る。 ・各役職者・トレーナーが指導・育成について理解を深める場を設け、同じレベルの指導を行う。		

【花畑部門】

《デイサービスセンターあすか 認知》

〈令和年4度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：65% 安定した事業運営と適切なサービス提供体制を構築する。 登録者数だけでなく、増回につながる様にCM等への働きかけを行う。	・新規獲得の為に、1ヶ月10件の営業を目標とする。リニューアルしたパンフレットや空き状況の用紙を配布していく。		
②	基本的な感染予防対策を十分に行いながら、認知症状の進行の緩和に繋がる活動提供を行う。	・活動の柱として、コグエボ（認知機能チェック&トレーニング）を導入する。個別に評価を行い、結果を踏まえて進行予防となる活動を提供する。		
③	書式の整理を行い、情報を見やすくし、ケア統一を図る。 家族ニーズ、地域ニーズを把握していく。	・介護支援ソフトの活用。 ・利用者支援への記録内容の充実を図る。（勉強会の実施） ・運営推進会議や家族交流会を開催し、情報収集を行う。		

【荒川部門】

《総 務 課》

〈令和 4 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	経営状況を把握し予算に沿った適正な事業運営に努めつつ、安定した事業運営を図る。	・スタッフ会議にて各事業の利用率、収支状況を共有するとともに、予算執行状況の確認を適宜行い、必要に応じた分析と対策検討を行う。		
②	職場環境の整備を行いつつ職員の定着を図り、常勤離職率を 10%以内に抑える。	・毎月のスタッフ会議にて、超過勤務（時間数や偏り）及び有休取得状況の確認を行う。 ・福祉機器の効果的な導入に向けたサポートを行う。		
③	建物の経年劣化に伴う修繕や備品の買い替えを計画的に行う。	・区と協議をしながら改修等を実施する。 ・車椅子や、見守りセンサー等、計画的な備品の買換えを行う。		

《部門特記事項》

- ・エレベーター改修工事（荒川区）：予定
- ・高圧引き込みケーブル工事（積立金）：3,100,000 円
- ・リクライニング車椅子購入（積立金）：450,000 円
- ・離床センサー購入（積立金）：700,000 円
- ・パソコン購入（積立金）：1,020,000 円

令和4年度

《年間予算表》 荒川部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	100	93.0%	446,142,000			0.0%		0		0.0%	****		0
短期入所生活介護	10	85.0%	39,138,000			0.0%		0		0.0%	****		0
通所介護	40	73.0%	95,902,000			0.0%		0		0.0%	****		0
居宅介護支援事業			18,037,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			599,219,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			405,185,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			81,242,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			77,033,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			183,000			0.0%		0		0.0%	****		0
支払利息支出			23,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の支出			2,926,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			0			****		0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,911,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0			****		0		****	****		0
長期貸付金支出			0			****		0		****	****		0
積立資産支出			4,458,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,400,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			5,446,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の活動による支出			0			****		0		****	****		0
支出合計(2)			579,807,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			19,412,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【荒川部門】

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域貢献及び安定した運営を図るため、空席発生から入居までの期間を年間平均10日以内で行う。	・荒川区の選考者名簿より入居事前調査を進め、常時3～5名を目安として入居待機者を確保し、速やかな入居に繋げる。		
②	安定した運営を図るため年間総入院者数を1700人以内とする。	・基礎介護委員会にて入院要因となる疾病について、課題分析を行いつつ具体的改善策検討し、入院日数減を図る。		
②	前期を目途に特養全利用者に対しての新規加算の取得を行う（個別機能訓練、褥瘡マネジメント、排せつ支援、科学的介護推進体制）。	・関係職種への説明、役割分担など導入体制の整備を行い10月までに全利用者からの算定を開始する。		
③	職員が専門的知識と技術を学べる環境づくりに向けた研修体制を再構築し、ケアの質向上を図る。	・研修資料に基づいた基礎介護研修をリーダー、中堅職員に向けて実施する。また、研修予定を年間予定に組み込み、計画的に実施する。		

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令 4 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
④	利用者・職員の負担軽減に資するよう福祉機器の効果的運用を図りつつ、持ち上げない介護を促進していく。	・スライディングボードとポータブルトイレを適切に使用する。 ・眠り SCAN やオムツセンサー等、次世代介護機器の導入検討を行う。		
⑤	排泄ケアを見直し、利用者の QOL 向上（排泄に係る時間削減、皮膚トラブル予防等）に向けるとともに、オムツ使用のコスト削減を図る。	・基礎介護委員会を中心にオムツの製品特製や単価を意識した排泄の見直しを行う。 ・利用者の安心や安全、業務軽減の双方の視点で検討を行う。		
⑥	事業安定を図るため、ショートステイ年間利用率 85%を目標に運営する。	・月平均 3 人以上の新規利用者を確保する。 ・新規顧客確保に向け、各居宅支援事業所との連携を促進していく。		

【荒川部門】

《荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用率 70%台を維持し、年間 73%を達成することで、安定した事業運営を行う。	・見学時、ご利用の意思確認が得られた場合、必要な情報収集等をいつつ速やかな利用開始に繋げる。 ・施設広報誌等のリニューアルを行い、外部への広報活動を行う。		
③	月平均 4～5 名の新規顧客を獲得し、登録者数 90 名を目指す。 利用者の意欲的な活動参加や安心感のある環境づくりを行うとともに、利用者、家族、ケアマネとの信頼関係を醸成していく。	・継続した研修機会を持ち、職員間の情報共有、一貫した個別ケアの提供を図る。 ・バラエティー豊かなレク・手工作等に磨きを掛けつつ、利用者ニーズに応じていく。		
④		・利用中の様子や気づきをタイムリーに家族やケアマネと共有する。 ・利用者の心身状態の変化に留意し、早期発見、対応に繋げる。		

【荒川部門】

《グリーンハイムケアマネジメントセンター》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営に向け、担当件数上限（要介護35・要支援8、主任ケアマネである管理者は20～24）の獲得と維持、後期より特定事業所加算Ⅲの算定を開始する。	・受入れ上限を常に把握し依頼は積極的に受入れる。又、地域包括等、関係機関へ空き情報を提供する。 ・特定事業所加算の算定要件を丁寧に確認しつつ、算定開始に向けていく。		
②	利用者の利便性向上のため、部門内他部署との連携を密に図る。	・利用者が希望した際には、部門内のサービス利用調整を迅速に行う。 ・部門内で連携を図り、利用者に利便性の良いサービスを提供する。		
③	区立施設の併設事業所として、地域貢献に努める。	・契約に繋がらない相談等にも、可能な限り誠実に対応していく。 ・地域のキャラバンメイト活動参加など、地域に貢献する活動を継続する。		

【荒川部門】

《東日暮里地域包括支援センター》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	コロナ禍・アフターコロナにおける地域のニーズを捉え、対応する。	・協議体を開催し、東日暮里地域の課題を把握し、解決のために地域で取り組めること、行政に提言することを分けて検討する。		
②	コロナ禍・アフターコロナにおける生活不活発へのアプローチを行う。	・活動が可能な状態であれば、月1回程度ふれあい館を利用し、フレイル（虚弱状態の予防）や認知症予防のための活動を地域住民に提供する。		
③	みまもり名簿新規登録者 100 名以上を目指す。	・みまもりネットワーク構築を進め、地域のつながりを強化する。		

令和4年度

《年間予算表》 東包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			71,689,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			71,689,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			57,948,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			940,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			9,199,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0			****		0		****	****		0
支払利息支出			0			****		0		****	****		0
その他の支出			0			****		0		****	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			0			****		0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			262,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0			****		0		****	****		0
長期貸付金支出			0			****		0		****	****		0
積立資産支出			600,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			122,000			0.0%		0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
その他の活動による支出			0			****		0		****	****		0
支出合計(2)			69,071,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			2,618,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【荒川部門】

《西日暮里地域包括支援センター》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	「地域ケアシステム」の構築に寄与する取り組みを実践する。	・昨年度行った地域連携推進会議で抽出した課題について、検討する会議を開催する。		
②	「みまもり事業」の推進に寄与する取り組みを実践する。	・みまもり名簿新規登録者数を80名以上に設定し目標とする。 ・機関誌の配布、サロン等を通じて町会や高齢者クラブとの関係作りを継続して取り組む。		
④	「生活支援体制整備事業」の推進について。	・事業推進にあたり区との協議を重ね、センターが担う役割を明確にして実行していく。		
⑤	事業所移転先について。	・予算内での物件探しにて、継続課題となっている。引き続き区と協議して進めていく。		

令和4年度

《年間予算表》 西包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			74,629,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			74,629,000	0		0.0%		0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			50,043,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			976,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			19,410,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0			*****		0		*****	*****		0
支払利息支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の支出			0			*****		0		*****	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			*****		0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0			*****		0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			222,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			672,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			212,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			71,535,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,094,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※
※
※
※

【荒川部門（町屋）】

《総 務 課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	効率的・効果的な運営に努め、適正な事業継続に必要な収益を確保する。	・財務三表、月次情報を的確に把握分析し、対応策等についてセンター全体で協議し、共有する。		
②	収支状況と安全面等を踏まえた適正な人員配置に努める。	・求人、採用計画については利用率や安全面などを考慮した適正な人員配置と人材を確保する。		
③	施設設備維持管理体制による安全・安心・快適な施設サービスの提供を図る。	・老朽化による施設設備の不具合等は法人本部管理課との連携の下、修繕計画を立て区と協議の上、対応する。		

《部門特記事項》

①厨房機器買替 2,000,000 円

②人材紹介料 600,000 円

令和4年度

《年間予算表》 町屋

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
通所介護	40	70.0%	116,277,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
居宅介護支援事業			20,191,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			136,468,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			85,242,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			18,485,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			27,377,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			72,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
支払利息支出			0			*****		0		*****	*****		0
その他の支出			936,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			*****		0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0			*****		0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			329,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0			*****		0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0			*****		0		*****	*****		0
積立資産支出			800,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			*****		0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			0			*****		0		*****	*****		0
拠点区分間繰入金支出			1,471,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の活動による支出			0			*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			134,712,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			1,756,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0

《特記事項》

※ 通所介護の内6,621,000円は受託事業収入（保険外事業）を含む

※

※

※

【荒川部門（町屋）】

《荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間平均利用率 70%を目標（1 日 /28 名）とする。	・居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者増に繋げる。 ・SNS の活用を含めた HP の掲載内容の工夫とさくら新聞の継続的な発行など広報活動の強化を図る。		
②	個別機能訓練加算を取得していく。	・個別機能訓練加算の取得（加算Ⅰ又は加算Ⅱ）に向け、介護システム活用など効率的な事務処理方法や人員配置等を検討する。		
③	サービスマナーの向上を図る。	・定期的なサービスマナー研修を実施する。（オンライン研修の積極的な活用）		
④	地域の社会資源として常に地域との関わりを意識し事業運営にあたる。	・介護者教室（月/1 回）の実施。 ・地域からのボランティアや実習生等の受入れを積極的に行う。		

【荒川部門（町屋）】

《町屋ケアマネジメントセンター》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営を行う。 ・1人当たりの受け持ちケアプラン数の上限獲得と維持を図る。 ・特定事業所加算の適切な運用と維持を図る。	・毎月事業実績や収支等を把握し、新規受け入れ等の調整を行う。 ・加算算定要件を定期的に週1の定期会議で確認する。		
②	介護支援専門員としての質の向上と風通しのより良い職場づくりを行う。	・法人・荒川区の研修を活用し、職員の能力と資質の向上を図る。 ・ミーティングの機会を必要に応じて持ち、業務上の不安や進捗状況を共有し、何でも話せる職場をつくる。		
③	地域に根差したケアマネジメント事業所として、何事にも主体的に取り組んでいく。	・地域包括ケアシステムの主旨にのっとり、地域課題を把握・分析し、主体性をもって対応していく。 ・地域住民や病院等からの相談も真摯に対応していく。		

【台東部門】

《総務課》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	健全な事業運営を継続するために、全事業の収支状況の適正な把握と周知。	・予算執行状況を適正に把握し、その内容を全事業に対し周知、改善が必要な場合は対策を講じる。		
②	人材の確保と定着率を高めるとともに、育成にも力を注ぐ。	・新たな人材を確保するとともに離職を防ぎ安定した人事管理を行なう。また育成にも力を注ぎ知識と技術継承に全事業で取り組む。		
③	サービスマナーの向上と環境整備の徹底を図る。	・窓口対応・電話対応等の接客をさらに向上させる。また効率よく業務を行えるよう環境整備に取り組む。		
④	アクティブ福祉 in 聖風会での発表に向け取り組む。	・部門全体でプレゼンテーションスキルを高める取り組みを行なう。また発表することで日常業務を振り返り改善のきっかけとする。		

《部門特記事項》 ※台東区備品購入分及び工事請負費

- ①【備品】介護用ベッド23台・高圧蒸気滅菌器・コールドテーブル・物理療法機器・ブラストチラー・調理台3台・車いす5台・
厨房ワーキングカート・会議用テーブル・職員用更衣ロッカー
- ②【工事】3F/4F 会議室と廊下の排煙窓修繕・エレベーターテンキー交換・電気錠追加設置と操作盤交換

令和4年度

《年間予算表》 台東

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	50	利用率94%	263,778,000			0.0%		0		0.0%	****		0
短期入所生活介護	10	利用率90%	42,454,000			0.0%		0		0.0%	****		0
通所介護	30	利用率60%	64,484,000			0.0%		0		0.0%	****		0
認知症対応型通所介護	12	利用率60%	30,623,000			0.0%		0		0.0%	****		0
居宅介護支援事業		25件×3	10,880,000			0.0%		0		0.0%	****		0
地域包括支援センター			45,076,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			457,295,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			317,106,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			76,428,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			48,167,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			252,000			0.0%		0		0.0%	****		0
支払利息支出			0			****		0		****	****		0
その他の支出			2,103,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0			****		0		****	****		0
固定資産取得支出			0			****		0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,324,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0			****		0		****	****		0
長期貸付金支出			0			****		0		****	****		0
積立資産支出			3,786,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****		0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0			****		0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			3,672,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の活動による支出			0			****		0		****	****		0
支出合計(2)			452,838,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			4,457,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0

《特記事項》

※ 収入合計のうち指定管理料として、介護老人福祉施設：41,848,000円、通所介護：2,513,000円、委託料として地域包括支援センター：31,834,000円を含む。

※

※

※

※

【台東部門】

《台東区立特別養護老人ホーム台東》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	入所を待つ区民へ円滑に入所案内が出来る。目標稼働率 94%を目指す。 ＊前年度平均を基に設定。	・選定、事前調査を円滑にし入所判定は他会議も活用する。 ・男性1名、女性2名を毎月待機になるよう調整する。 ・報酬改定に伴う加算を検討する。		
②	新型コロナウイルスの感染症拡大防止に努め入居者の生活を守る。	・感染予防を徹底した支援に努め面会は行政指導のもと検討していく。 ・感染した場合の想定訓練を行う。		
③	基礎介護力と知識を深めケアの質を向上する。	・年間予定に沿って適正な人員配置になるよう計画実施する。 ・基礎介護力、医療知識等オンライン研修を積極的に行う。		
④	特養の課題を解決する仕組みを作る。	・委員会目標を明確にし計画に沿って課題解決し能動的に研修企画、実施する。 ・係長・主任・リーダー等フロア会議で検討し解決できるようにする。		

《台東区立特別養護老人ホーム台東》

〈令和４年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	アクティブ福祉 in 聖風会の発表に向けて取り組む	・常勤に占める外国人材の割合の高さを課題分析し今後の方向性と展開を見出す。		
⑥	安定した事業運営のため適正収益を目指す。目標利用率９０％ ※昨年度の平均を基に設定する。	・新規獲得のため定期的にショート通信等送付する。 ・利用者担当介護支援専門員との良好な関係を築く		
⑦	職員が共通認識を持ち統一したケアを行う。	・利用中の変化は的確に家族・担当ケアマネージャー等と連携し情報共有を図り、ケア変更等の際は他職種職員、全体周知を徹底する。 ・既存のマニュアルを見直し点検・改善を行う。		
⑧	ショート・デイ連絡会の意義・役割を具現化する。	・ショート・デイの併用利用者にショート・デイ連絡会の共有を活かし統一したケアを実践し、この連絡会活動をアクティブ福祉 in 聖風会で実践報告できるようにする。		

【台東部門】

《台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター 一般》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用率は、60%（一般:54%予防:6%）を目標に安定した運営を行う。	・居宅介護支援事業所へ空き状況やコロナ対策周知、改編のおたよりでデイの特徴を紹介し利用率向上を目指す。この取り組みの実践をアクティブ福祉 in 聖風会参加に繋げる。		
②	ご利用者やご家族のニーズを尊重したサービスの充実や提供に努める。	・ご家族、ケアマネ等との連携を図る。またショート併用利用者の情報をショート/デイ連絡会で共有しサービス向上に繋げる。		
③	ご利用者本位で快適に過ごして頂ける環境や雰囲気作りを図る。	・おたより名称「一日一笑」を目標に笑顔になる環境作りに努めるとともに活動内容を掲示、ポスター等で分かりやすく伝えていく。		
④	コロナウイルス感染症拡大防止のため適時適切な感染対策に取り組む。	・感染症予防対策を強化し変化する感染症の情報収集、対策検討を行う。		

【台東部門】

《台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター 認知》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用率は 60%を目標に安定した運営を図る。	・居宅介護支援事業所へ空き状況やコロナ対策等、認知デイの特徴を紹介し利用率向上を目指す。この取り組みの実践をアクティブ福祉 in 聖風会の参加に繋げる。		
②	利用者の認知症に伴う特性に合わせたサービス支援を行う。	・個々の心身状態の変化を見逃さず職員間やケアマネージャー、ご家族等、他関係機関と連携し専門性のある支援を行う。		
③	認知症の進行を遅らせ心身機能の維持向上に努める。	・性格傾向、特性等、個別性を考慮し日々の症状変化、日内変動のある利用者へ、その場面で必要なケアを行い通所継続できるよう努める。		
④	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、適時適切な感染対策に取り組む。	・認知症により感染症予防が難しいことに留意し消毒、換気、環境整備を徹底するとともに変化する感染症の情報収集、対策検討を行う。		

【台東部門】

《ケアマネジメントセンターたいとう》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を視野に入れた運営を目指す。 件数目標値1人当たり介護30件(介護25件、予防5件)	・新規依頼件数の獲得に努め、その取り組みを維持する。 ・職員1名増員、3名体制を目指す。		
②	介護保険制度改定の変更点を熟知し業務遂行上不備のないように職員間で情報を共有する。	・ICTを活用した研修等に参加し制度改定の情報を共有する。 ・ケアプランプロセスが適切に実施されているかの点検を実施する。		
③	感染症や災害発生時にも支援が継続できるように体制を整えておく。	・併設事業と連携し災害や感染症による有事に備えた支援継続のマニュアルを作成し、シミュレーションを行う。		

【台東部門】

《たいとう地域包括支援センター》

〈令和4年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域包括支援センターの周知	・地域住民・医療機関・薬局・関係団体へ広報誌の発行や出前講座を開催し周知を図る。		
②	買物が困難な高齢者が利用できる支援対策	・区や民間事業者と協力・連携し、ネットスーパーなど高齢者の新たな買物手段を構築できるよう検討する。		
③	成年後見制度の利用促進	・個々のケースの課題やニーズによって、候補者の選定をおこなえるよう、関係団体との連携を図る。		
④	アクティブ福祉 in 聖風会発表に向けての取組み	・地域住民や関係団体との地域連携の取組みを検討する。		